

## 肺癌新分類第8版の妥当性の検討—画像と病理の対比—に関する研究

### 1. 研究の対象

2003年1月から2011年12月までに完全切除された肺癌患者さん1866人を対象としております。

### 2. 研究目的・方法

新しい肺癌分類の妥当性を検討することを目的としています。

2017年から肺癌の分類が大幅に変更される予定です。当院のデータをその分類に合わせることで、新しい分類におけるstage別の予後がうまくわかるかを検討します。新しい分類沿った成績が明らかになることよってこれからの外科治療を考えていく礎となる研究です。

研究実施期間：2年間

対象となった患者さんの診療録から、その臨床的特徴に関する必要な情報を収集します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、喫煙歴、手術所見、画像所見、検査所見、治療経過、予後等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 青景圭樹

TEL 04-7133-1111

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 坪井正博